

2023 年度 藤枝学院高等専修学校
自己点検・評価項目および学校関係者評価報告書

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4			4	教育理念の変化や子供たちを取り巻く環境の変化に合わせて改革、改変が必要。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4			4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4		時代と共に変化してゆく生徒の特性を生かす評価方法をこれからも精査していく必要がある。	4	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	4			4	

2. 教育活動

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	4			4	電子黒板による影響は今後工夫と精査が必要。 理解と習熟に対してはどの程度影響があるのか引き続き注視、分析が必要。
定期的なカリキュラムの見直しが行なわれているか	4			4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3	ICT化を進めるうえで電子黒板を導入。その活用法にはまだまだ改善、発展の余地がある。	生徒の実情に合わせた学校独自の教材を充実させたが更なる改良が必要である。教材のデジタル化も検討が必要。	3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	4			4	
資格試験の合格率は	4	パソコン関連の資格は取得率の向上並びに上位級受験希望者が増加したが、最上位級に達した生徒の次の目標が必要。	新たな資格受験科目を設定。	4	
資格試験不合格者の対策は	3	放課後に研修会を設けているものの、自らの意志で学習する生徒を育成していくことが肝要。	継続的な指導よりも短期集中の指導方法が向いている生徒もいるため、短期集中による研修を充実させる。	3	
評価は適切な方法で行われているか	3	達成度算出はプログラム化したので作業の煩雑さは解消したが、今年度より連携校の観点別評価算出が過度に煩雑な作業となっている。	負担軽減のためのプログラムを作成、実装。	3	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローが行なわれているか	3	目標に到達していない生徒に対し、個々に対応するようにしているが、教員がついていないと学習できない生徒がいる。	自学自習できる生徒と教員がついての指導が必要な生徒とそれぞれに適切な対応をしていく。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4			4	

3. 生徒受入

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	中学校での進路活動は早期化が顕著になっている。通信制高校の影響が大きく、2年生からの問い合わせに対応していく必要がある。	スポットで中学校の先生方に早い段階から情報を提供する。また生徒保護者主体になっている進路活動に対応することが急務。	3	多様性が求められる時代だが、人と人のコミュニケーションを避けて生活することは難しいので、どのように関わりを持たせるかが大事。
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4			4	
募集要項の内容は適切か	4			4	
学校見学会の時期、内容は適切か	4	※学校見学は随時受付		4	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4			4	
志願者状況、定員充足率はどうか	2	県からの学費補助制度が施行され入学者数は一頃に比べ改善傾向にあるが、通信制高校による早期結果発表、公立高校との併願者の増加及び公立高校が定員を超過し合格を出すなどの影響は決して少なくない。また、支援を要する生徒の入学相談が増加傾向にある。	志願者数を増やすためには、まず在校生が生き生きと活動し、学校に対する満足度を上げる必要がある。即ちそれは口コミによる広報活動の拡充につながる。見学者数を増やすためには、中学校の先生方に対し、専修学校の教育について理解を深めてもらえるように定期的、継続的な募集活動を行う。	2	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	3	友人関係や家庭環境による生活の不安定さから過度に他者へ依存するなどが見られた。どこまで家庭環境に踏み込むか難しいものがある。	早めに家庭や関係各所との連絡を行う。	3	

4. 教職員組織

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4			4	新規の募集、サークルの外部ボランティアを開拓、現職のフォローを総合的かつ継続的に実施することが肝要。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	制度上の問題はないものの、教員一人あたりの担当科目・時間数が多く負担が多い。	時間講師の人員増、担当時間数増を図る。	3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	4			4	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか	4			4	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4			4	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	担当時間数が過大になっている。教員は意欲的なのだが物理的な作業時間が不足している。	非常勤講師の雇用と業務のスマート化を図る。	3	

5. 施設・設備等

評価項目	評価	現状の問題点	評価	評価	関係者の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	施設設備は目に見えることなので、今後も適時、維持管理が必要。
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4			4	
実習設備は整備されているか	4	年度末に実習用コンピュータの全面入れ替えを実施。引き続き維持管理に努める。		4	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	4			4	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	4	図書室を設置、解放したが、時間的な制約があるので利用方法については今後の課題である。		4	
保健室は適切に整備されているか	4			4	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	4			4	
職員室の管理は適切に行われているか	4			4	
事務室の管理は適切に行われているか	4	校舎改装とともに事務室もリニューアルした。		4	

6. 生徒生活支援

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	3	友人関係や家庭環境による生活の不安定さから居場所に困る生徒への対応。	今後も更なる工夫が必要。	3	特になし
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4			4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4			4	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4			4	

7. 管理・運営

評価項目	評価	現状の問題点	改善のための方策	評価	関係者の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4			4	ハラスメントは多岐にわたるのでセクハラに限らず注視する。
個人情報保護法を遵守しているか	4			4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4			4	

以上、本校の教育研究活動等の状況について報告します。